



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リード

コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 町田 肇

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 千葉 新

TEL 048-588-1121

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,104	△15.1	△231	—	△200	—	△285	—
24年3月期第3四半期	6,010	△16.4	△144	—	△119	—	△202	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△21.73	—
24年3月期第3四半期	△15.40	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
25年3月期第3四半期	8,676	—	1,982	—	22.9	150.89
24年3月期	8,733	—	2,152	—	24.7	163.85

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,982百万円 24年3月期 2,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△17.9	10	—	20	—	0	—	0.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	13,164,800 株	24年3月期	13,164,800 株
25年3月期3Q	24,853 株	24年3月期	24,853 株
25年3月期3Q	13,139,947 株	24年3月期3Q	13,140,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) その他注記情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速状態が続いていることから、輸出や鉱工業生産が減少し、弱含みの状態が続いています。昨年末からは、デフレ脱却に向けた金融緩和や大型予算の執行が期待されることから円高の是正・株価の回復等が進んでおりますが、海外経済の減速に加え、国内の設備投資・個人消費の動向も不透明で、当面は横ばいの圏内で推移するものと思われれます。

当社の売上に大きな影響を与える乗用車の国内生産台数は、エコカー補助金の終了に伴う反動減の影響を見込んだ生産調整が続いております。

また、平成24年9月10日には本社工場塗装棟におきまして、火災事故が発生いたしました。

このような経営環境の中で当第3四半期累計期間の売上高は5,104百万円(前年同期比15.1%減)となりました。自動車用部品部門での火災事故による影響とモデルチェンジによる部品点数の減少が主な要因です。

損益面につきましては、原価低減改善活動や固定費の削減等により生産コストの改善を図りましたが、売上高の減少と火災の影響による費用の増加に伴い営業損失231百万円(前年同期は営業損失144百万円)となりました。

営業外収益は受取賃貸料34百万円、助成金収入19百万円等により76百万円、営業外費用は支払利息36百万円等により45百万円を計上し、経常損失は200百万円(前年同期は経常損失119百万円)となりました。また、建物、金型等の固定資産除却損75百万円、投資有価証券評価損6百万円等による特別損失86百万円を計上しました。その結果、四半期純損失は285百万円(前年同期は四半期純損失202百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、4,526百万円(前年同期比17.9%減)となりました。火災事故とモデルチェンジによる部品点数の減少が主な要因です。セグメント損失(経常損失)は162百万円(前年同期はセグメント損失56百万円)となりました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、517百万円(前年同期比12.9%増)となりました。照明機器製品が52百万円、電子機器製品が6百万円増加しました。セグメント損失(経常損失)は60百万円(前年同期はセグメント損失82百万円)となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は22百万円(前年同期はセグメント利益22百万円)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しております。

④その他

駐輪設備の売上高は59百万円(前年同期比60.9%増)となりました。公共施設等大型案件の受注が主な要因です。セグメント利益(経常利益)は0百万円(前年同期はセグメント損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末比56百万円減少し、8,676百万円となりました。項目別では、流動資産は69百万円増加し、4,525百万円となりました。主な要因は現金及び預金が322百万円、火災未決算が154百万円、電子記録債権が146百万円増加し、受取手形及び売掛金が504百万円、製品が21百万円減少したことです。固定資産は101百万円減少し、4,145百万円となりました。主な要因は建物が141百万円増加し、機械及び装置が174百万円、工具、器具及び備品が75百万円、本勘定へ振替えた建設仮勘定が170百万円減少したこと等により有形固定資産が273百万円減少し、その他投資有価証券が176百万円増加したこと等により投資その他の資産が173百万円増加したことです。

流動負債は452百万円減少し、3,814百万円となりました。主な要因は短期借入金が97百万円増加し、支払手形及び買掛金が61百万円、未払金が454百万円減少したことです。固定負債は566百万円増加し、2,879百万円となりました。主な要因は長期借入金が499百万円、その他のうち繰延税金負債が59百万円増加したことです。その結果、負債全体では113百万円増加し、6,694百万円となりました。

純資産は170百万円減少し、1,982百万円となりました。主な要因はその他有価証券評価差額金が115百万円増加し、四半期純損失285百万円により利益剰余金が285百万円減少したことです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、火災事故があり火災保険収入等、精査中であるため予想が出来次第開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ3,635千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,009,497	2,331,769
受取手形及び売掛金	1,691,827	1,187,115
電子記録債権	—	146,582
製品	267,783	246,304
仕掛品	74,002	67,136
原材料及び貯蔵品	294,147	290,013
火災未決算	—	154,111
その他	120,690	103,652
貸倒引当金	△2,290	△1,470
流動資産合計	4,455,659	4,525,214
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	787,929	929,651
構築物(純額)	48,520	52,678
機械及び装置(純額)	696,086	521,243
車両運搬具(純額)	5,180	3,691
工具、器具及び備品(純額)	331,614	256,194
土地	1,658,935	1,658,935
リース資産(純額)	20,927	23,793
建設仮勘定	173,042	3,008
有形固定資産合計	3,722,236	3,449,197
無形固定資産		
ソフトウェア	18,276	11,532
その他	4,356	9,072
無形固定資産合計	22,632	20,604
投資その他の資産		
その他	513,499	697,503
貸倒引当金	△10,890	△21,340
投資その他の資産合計	502,609	676,163
固定資産合計	4,247,477	4,145,965
繰延資産		
開発費	30,555	5,555
繰延資産合計	30,555	5,555
資産合計	8,733,692	8,676,735

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	539,108	477,339
短期借入金	2,044,879	2,142,042
未払金	1,547,462	1,092,860
未払法人税等	1,453	708
その他	134,742	102,017
流動負債合計	4,267,646	3,814,968
固定負債		
長期借入金	1,504,402	2,004,326
退職給付引当金	88,425	91,787
資産除去債務	95,130	95,232
その他	625,094	687,769
固定負債合計	2,313,053	2,879,116
負債合計	6,580,699	6,694,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	211,245	211,245
利益剰余金	329,580	44,103
自己株式	△5,140	△5,140
株主資本合計	1,193,924	908,448
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,125	169,260
土地再評価差額金	904,942	904,942
評価・換算差額等合計	959,068	1,074,202
純資産合計	2,152,993	1,982,650
負債純資産合計	8,733,692	8,676,735

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,010,922	5,104,768
売上原価	5,772,562	4,965,866
売上総利益	238,360	138,902
販売費及び一般管理費	383,334	370,642
営業損失(△)	△144,974	△231,740
営業外収益		
受取利息	578	508
受取配当金	7,498	7,897
受取賃貸料	34,615	34,625
助成金収入	26,430	19,797
その他	4,150	13,926
営業外収益合計	73,273	76,756
営業外費用		
支払利息	37,838	36,298
賃貸費用	9,610	9,232
その他	812	40
営業外費用合計	48,261	45,571
経常損失(△)	△119,962	△200,556
特別利益		
固定資産売却益	65	498
特別利益合計	65	498
特別損失		
減損損失	17,315	4,394
災害による損失	35,470	—
固定資産除却損	36,208	75,563
投資有価証券評価損	801	6,315
特別損失合計	89,794	86,272
税引前四半期純損失(△)	△209,691	△286,330
法人税、住民税及び事業税	397	397
過年度法人税等戻入額	△7,074	△916
法人税等調整額	△601	△334
法人税等合計	△7,278	△853
四半期純損失(△)	△202,412	△285,476

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) その他注記情報

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

平成24年9月10日に、当社本社工場の塗装棟において発生した火災事故により焼失した建物、機械及び装置等の帳簿価額154,111千円は、保険金を受領できる見込みであるため、火災未決算として流動資産に計上しております。